

## 2020年度事業報告の件

### はじめに

2019年終わりから全世界中に感染拡大を引き起こしている新型コロナウイルス感染症は、様々な面において私たちの生活を一変させました。

日本においても2020年初頭より新型コロナウイルス感染症が拡大したことで、2020年3月2日から、全国の小中学校と高校が臨時休校し、2020年4月7日に、政府が「緊急事態宣言」を発令し、その対象自治体（7都府県）に千葉県が指定され、その後全国に拡大しました。都道府県は市民に外出自粛を呼びかけ有興施設や商業施設など幅広い業種に休業を要請しました。街ではマスクやアルコール消毒などの品薄が続き、買い占めや高額転売が相次ぎました。病院では、入院病床や医療物資の不足が大きな問題となりました。緊急事態宣言は5月下旬に全面解除されましたが、その後も混乱は続きました。その事から夏に開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックも2021年の開催へ延期されることになりました。そんな状況から感染予防対策として、社会的距離の確保やマスク着用などの「新しい生活様式」が浸透し、自宅などで勤務するテレワークをはじめ、感染リスクが高まるとされる「3密」を回避する動きが広まりました。政府は、一律10万円の給付や、企業に支給する「雇用調整助成金」の拡充などを盛り込んだ緊急経済対策を実施し、7月には、「GoToトラベル」事業も始まりました。9月に7年8ヶ月に渡り首相として政権を築いてきた安倍首相から菅氏が第99代の首相に就任しました。菅内閣が発足した以降、11月には新型コロナウイルス感染が再拡大し12月には「GoToトラベル」事業の全国一斉停止に踏み込んだものの、国内の新規感染者が増加し、現在も新型コロナウイルス感染症の勢いが止まらない状況が続いています。その影響から更に休業・休職を余儀なくされたり、不安定で低賃金の労働者の減収、新卒者の内定取り消し、中小零細事業者の経営への打撃など、市民生活に甚大な影響を及ぼしています。

こうした中、千葉県労福協は、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により様々な規制を強られる中、「今後の労働者福祉運動のあり方」の方針に基づき、この間の運動を検証しながら「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を目指し、労働者福祉向上の運動、労働者自主福祉運動と協同組合運動の推進、そしてちばライフサポートセンター事業、組織の強化、さらに格差・貧困問題等の社会的課題等に対してNPO法人や市民団体と協働で取り組みを行ってきました。

労働者自主福祉運動・協同組合運動の推進では、構成団体代表者会議や構成団体事業推進実務者会議を開催し、共通認識を醸成するとともに具体的取り組み等の意見交換を行い、「労働団体への運動方針化要請」や「労働者自主福祉運動シンポジウム」を開催しました。「労働者自主福祉運動シンポジウム」については、コロナ禍という事から、規模を縮小しての開催となりましたが、今回初めてYouTubeでの配信を行い、より多くの方々に内容を見てもらう取り組みを行いました。この事は今後の活動において新しい開催方法のきっかけになると考えています。一方、毎年開催していた千葉県生協連と福祉団体との連携による「協同組合フェスティバル」は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

地区労福協との連携では、地区労福協代表者会議を3回開催（うち2回書面開催）し、各地区の取り組みや課題、さらに県労福協の取り組み等の共通認識の醸成をはかるとともに、労働者自主福祉運動の方針化や、奨学金制度改善の取り組み、福祉強化キャンペーン、ちばライフサポートセンター事業の広報宣伝等、協力を頂き連携を図り取り組みました。

文化・体育活動では、「第36回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会」と「第17回千葉県勤労者ボウリング大会」の開催を予定していましたが、やはり新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。

教育・宣伝活動では「第5回労働者福祉セミナー」はグループワーク主体となる事から感染リスクが非常に高い事を鑑みて中止としました。

更に「中央労福協全国研究集会」や「東部ブロック福祉リーダー塾」においても、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

しかしながら「労働組合のための税務研修会」については、しっかりと感染予防対策を講じながら何とか開催をする事ができ、個別相談を含め実効性のある研修となりました。

「ちばライフサポートセンター事業」では、相談員2名体制で実施し、広告・宣伝の取り組みにおいては、連合千葉やこくみん共済coop千葉推進本部等の構成団体との一層の連携のもとに進めることができました。

「野田市生活困窮者自立支援事業」については、新型コロナウイルス感染症に関する相談等が大幅に増え、住宅確保給付金の申請手続きをはじめ、生活困窮者からの様々な相談や外国人からの相談など多岐にわたる相談内容に対し、相談者の気持ちにしっかりと寄り添いながら全力で相談業務に対応してきました。

その他、労働者福祉向上のための運動、貧困・格差問題等の社会的課題への取り組みなど、コロナ禍の中、活動が制約されながらも、会員団体のご協力を得て取り組みを進めてきました。特に社会的課題においては、NPO法人・市民団体とも連携を強化し、取り組みを進めました。

この一年のご協力に感謝申し上げ、以下具体的な取り組みについて報告いたします。

## I. 労働者福祉に関する事業

### 1. 理事会及び専門委員会の開催

#### 1) 理事会の開催

第50回理事会 2020年5月26日(火) 理事14名 監事3名 事務局1名

- ①第7回定時総会関係及び常務理事の選出について
- ②各種団体等への役員の派遣について
- ③その他

第51回理事会 2020年6月15日(月) 理事10名 監事2名 事務局1名

- ①各種会議の構成員及び開催日について
- ②年間主要活動について
- ③職員の2020年度賃金昇給及び一時金について
- ④(社福)千葉県共同募金会への役員の派遣について
- ⑤その他

第52回理事会 2020年8月17日(月) 理事13名 監事2名 事務局1名

- ①各種会議の開催日及び年間主要活動の具体化について
- ②第36回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会開催の見直しについて
- ③2020年度「労働者自主福祉運動シンポジウム」の実施について
- ④「2020全国福祉強化キャンペーン」の取り組みについて
- ⑤中央労福協「生活・就労応援基金」の設置について
- ⑥2020年度「奨学金に関する全国一斉相談会」について
- ⑦千葉県への政策制度要請について
- ⑧第31回千葉県協同組合フェスティバルへの参加について

- ⑨ 社会保険診療報酬支払基金千葉支部幹事会幹事の派遣について
- ⑩ 千葉県消費者行政審議会委員の派遣について
- ⑪ その他

第53回理事会 2020年10月16日（金）理事9名 監事2名 事務局1名

- ① 各種会議等の開催日について
- ② 奨学金に関する全国一斉相談の実施について
- ③ 千葉県への政策制度要請について
- ④ 2020年度「労働組合のための税務研修会」の開催について
- ⑤ 2020年度「第5回労働者福祉セミナー」開催の見直しについて
- ⑥ 「第17回千葉県勤労者ボウリング大会」開催の見直しについて
- ⑦ 関連団体行事の後援等について
- ⑧ 千葉県からの補助金に関わる補正予算申請について
- ⑨ 労働者福祉東部ブロック協議会2021年度役員選出について
- ⑩ 千葉県医療審議会への審議会委員の派遣について
- ⑪ 理事の交代について
- ⑫ その他

第54回理事会 2020年12月16日（水）理事11名 監事2名 事務局1名

- ① 各種会議等の開催日について
- ② 第8回定時総会の日時と会場について
- ③ 役員推薦委員会の設置について
- ④ 千葉県からの補助金に関わる補正予算申請後の修正点について
- ⑤ 理事の交代について
- ⑥ 「ちばライフサポートセンター」におけるネットへの不正アクセスによるPCウィルス感染の経緯および職員の処分について
- ⑦ 中央労働金庫における各都県労福協への会費の負担金割合の提案について

第55回理事会 2021年 2月16日（火）理事12名 監事3名 事務局1名

- ① 各種会議等の開催日について
- ② 中央労働金庫における千葉県労福協の初年度会費負担金の割合変更について
- ③ 「2020年度組織・財政あり方委員会」の発足および次年度に向けた千葉県労福協の今後の考え方(案)について
- ④ 第8回定時総会関係について
- ⑤ 野田市生活困窮者自立支援事業の業務委託内容の変更について
- ⑥ 第92回千葉県中央メーデーについて
- ⑦ 野田市PSC職員への期末手当の支給について
- ⑧ 情報セキュリティ基本規程(案)について
- ⑨ その他

第56回理事会 2021年3月19日（金）理事11名 監事2名 事務局1名

- ① 次年度に向けた組織・財政のあり方(案)について
- ② 第8回定時総会関係について
- ③ 2021年度役員報酬について
- ④ 野田市生活困窮者自立支援事業への対応について
- ⑤ 野田市PSCの実施体制と職員の継続雇用について
- ⑥ ちばライフサポートセンター相談員の継続雇用について
- ⑦ パート職員の継続雇用について
- ⑧ 第92回千葉県中央メーデーの対応について
- ⑨ 千葉県要請への回答について
- ⑩ その他

第57回理事会 2021年4月16日（金）理事11名 監事2名 事務局1名

- ①第8回定時総会関係について
- ②中央労福協「2021年度全国研究集会」への参加について
- ③その他

## 2) 三役会の開催

第1回三役会 2020年6月4日（木）

### I. 理事会協議事項

- ①各種会議の構成員及び開催日について
- ～ ⑤その他

### II. 三役協議事項

- ①2019年度賃金昇給及び一時金について
- ②その他

第2回三役会 2020年8月6日（木）

### I. 理事会協議事項

- ①各種会議の開催日及び年間主要活動の具体化について
- ～ ⑨社会保険診療報酬支払基金千葉支部幹事会幹事の派遣について

### II. 三役協議事項

- ①「ちばライフサポートセンター」の今後のあり方について
- ②その他

第3回三役会 2020年10月1日（木）

### I. 理事会協議事項

- ①各種会議等の開催日について
- ～⑩その他

### II. 三役協議事項

- ①チャリティゴルフ大会中止に伴う、チャリティ募金の対応について

第4回三役会 2020年12月4日（金）

### I. 理事会協議事項

- ①各種会議の開催日について
- ～ ⑤その他

### II. 三役協議事項

- ①中央労働金庫における各都県労福協への会費（負担金）の負担金割合の提案について

第5回三役会 2021年2月3日（水）

### I. 理事会協議事項

- ①各種会議の開催日について
- ～ ⑤その他

### II. 三役協議事項

- 1. 中央労働金庫における千葉県労福協の初年度会費負担金の割合変更について ～④情報セキュリティ基本規程(案)について

第6回三役会 2021年3月1日（月）

### I. 理事会協議事項

- ①第8回定時総会関係について
- ～ ⑨その他

### II. 三役協議事項

第7回三役会 2021年4月7日（水）

### I. 理事会協議事項

- ①第8回定時総会関係について  
～ ③その他

## Ⅱ. 三役協議事項

### 2. 労働者福祉推進に関する事業

#### (1) 中央・東部ブロック・地方労福協との連携

中央労福協、東部ブロックに参加し、各地方労福協と一緒に活動を推進するとともに、各種会議、研究集会、連絡会議に積極的に参加し、県段階の運動に活かす活動を展開してきました。

##### 【中央労福協】

- ◎2020年度全国研究集会 2020年6月11日(木)～12日(金) 京都市(延期)  
2020年9月1日(火)WEB配信へ変更して開催
- ◎2020年度事業団体・地方労福協合同会議  
2020年7月6日(月) WEB会議
- ◎2020年度公益法人制度に関する研修・情報交換会 2020年7月13日(月) WEB会議
- ◎2020年度事務担当者研修会 2020年6月25日(木)～26日(金) 宮城県仙台市  
(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- ◎LSC実務者・相談員研修 2020年10月13日(火) WEB研修
- ◎奨学金問題相談員研修 2020年10月13日(火) WEB研修
- ◎第2回地方労福協会議 2020年9月28日(月) WEB会議  
確認事項・意見交換 ① 生活・就労応援基金(ろうふくエール基金)について  
② 「2020全国福祉強化キャンペーン」の取り組みについて
- ◎ライフサポートセンター責任者連絡会議 2020年9月28日(月) WEB会議
- ◎第3回地方労福協会議 2021年3月3日(水) WEB会議

##### 【労福協東部ブロック協議会】

- ◎第227回幹事会 2020年7月16日(木) 長野市 ホテル犀北館
- ◎ライフサポート事業経験交流会 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- ◎第228回幹事会・代表者会議 2020年10月8日(木) 水戸市 水戸京成ホテル  
(第228回幹事会のみ開催され代表者会議は中止)
- ◎第229回幹事会 2020年12月2日(水) 新潟市 新潟東映ホテル
- ◎第55回定期総会・記念講演 2020年12月2日(水) 新潟市 新潟東映ホテル  
①第55回定期総会  
②記念講演 「労働者協同組合法について」  
講師 いがた協同ネット共同代表 江花 和郎 氏
- ◎役職員研修会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ◎第230回幹事会 2021年3月24日(水)～25日(木) 高崎市 ホテルメトロポリタン  
高崎

##### 《東部ブロック福祉リーダー塾》

- ◎第14期 2020年6月18日(木)～20日(土) 三島市・東レ総合研修センター  
(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

#### (2) 地区労福協の強化・育成・支援に関する事業

- <第1回代表者会議> 2020年7月31日(金) 千葉商工会議所第2ホール

## I. 活動報告

1. 5月～6月の活動報告並びに各種会議報告
2. 千葉県労福協組織運営並びに年間主要活動計画

### (1) 諸会議構成

### (2) 年間主要活動について

- ①広報誌「しあわせ」発行
- ②政策制度要請
- ③第36回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会
- ④全国福祉強化キャンペーン
- ⑤労働者自主福祉シンポジウム
- ⑥税務サポート研修会
- ⑦第17回千葉県勤労者ボウリング大会
- ⑧第5回労働者福祉セミナー

### (3) 地区労福協・千葉県労福協並びに構成団体との連携について

### (4) 労働者自主福祉運動・協同組合運動の推進と事業団体の利用促進

### (5) 「2020全国福祉強化キャンペーン」の取り組みについて

### (6) ちばライフサポートセンターの広報・宣伝の取り組みについて

### (7) その他 ①連絡先一覧について

## II. 地区労福協活動報告

## III. 2020年度地区労福協運営助成金について

## IV. 意見交換事項

1. 労働者福祉運動・労働者自主福祉運動の推進
2. 地区労福協運動の課題、今後のあり方等

## V. 連絡事項

1. 費用補助制度について

<第2回代表者会議> 2020年10月23日（金）

（新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催）

## I. 千葉県労福協活動報告

1. 諸会議・諸活動等
2. 「ちばライフサポートセンター」関係
3. 「野田市パーソナルサポートセンター」関係
4. 中央労福協・東部ブロック協議会関係
5. NPO等加盟団体関係

## II. 協力要請事項

1. 労働者自主福祉運動・協同組合運動推進の取り組みについて
2. 2020年度「労働者自主福祉運動シンポジウム」の実施について
3. 「2020全国福祉強化キャンペーン」の取り組みについて
4. 2020年度「労働組合のための税務研修会」の開催について
5. ちばライフサポートセンターの広報・宣伝の取り組みについて
6. 「第17回千葉県勤労者ボウリング大会」の開催の見直しについて
7. 2020年度「第5回労働者福祉セミナー」の開催の見直しについて
8. その他

## III. 地区労福協活動報告

## IV. 連絡事項

1. 2020年度地区労福協運営助成金について（再確認事項）
2. 講演会・セミナー等の費用補助制度の活用について（再確認事項）
3. 今後の主な予定

## V. その他

<第3回代表者会議> 2021年2月26日（金）

（新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催）

- I. 千葉県労福協報告
  - 1. 諸会議・諸活動等
  - 2. 第10回ちばユニバーサル農業フェスタ
  - 3. ちばライフサポートセンター関係
  - 4. 中央労福協・東部ブロック協議会関係
  - 5. NPO等加盟団体関係
- II. 協力要請事項
  - 1. 千葉県労福協第8回定時総会への対応について
  - 2. 2021年度地区労福協運営助成金について
  - 3. 第14期労福協東部ブロック福祉リーダー塾参加について
  - 4. その他
- III. 地区労福協活動報告
- IV. 意見交換事項
  - 1. 千葉県労福協2021年度事業計画（案）策定に対する意見・要望について
  - 2. 労働者自主福祉運動・事業の推進について
  - 3. 次年度の地区労福協代表者会議について
  - 4. その他
    - (1)「地区労福協代表者連絡先組織一覧」について
    - (2) その他
- V. 連絡事項

地区労福協代表者会議は、年間計画の3回を開催しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により第2回、第3回については書面開催となってしまいました。

各地区労福協からは、やはり新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定していた様々な行事を中止せざるを得ない状況が続いており、非常に苦労しながら活動を進めていることの報告がされています。

コロナ禍ではありましたが、「全国福祉強化キャンペーン」、「奨学金問題一斉相談会の取り組み」、「千葉県労福協の各種活動」への協力要請や千葉県労福協と地区労福協との意見交換等を行ってきました。

○各地区労福協の主な活動報告は、【資料1】参照。

### (3) 構成団体との連携による労働者自主福祉運動・協同組合運動の推進

#### ①構成団体代表者会議

第1回 2020年8月6日（木）17:30～ 千葉市内  
 出席者 中央労金千葉県本部：日高常務理事  
 こくみん共済 coop千葉推進本部：林田本部長  
 連合千葉：永富事務局長  
 労福協：鈴木会長、宮崎常務理事、岩上職員

#### ②構成団体事業推進実務者会議

第1回 2020年11月20日（金）（新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催）  
 出席者 中央労金千葉県本部：菅生都県統括部長  
 こくみん共済 coop千葉推進本部：杉浦事務局長  
 千葉県生協連：佐久間事務局長  
 連合千葉：永富事務局長  
 労福協：鈴木会長、宮崎常務理事、岩上職員  
 内 容 1. 労働者自主福祉運動推進の推進取組報告（経過報告）

- 2. 課題と今後の取り組みについて（次年度事業計画への反映）
- 3. 意見交換・構成団体からの意見要望

③第31回千葉県協同組合フェスティバル

日時・場所 2020年11月8日（日）千葉ポートパーク円形広場  
 （新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

④労働者自主福祉運動シンポジウム

日時・場所 2020年11月14日（土）13:00～15:30 千葉交通労働組合会館（成田市）

参加者 35名

主催 千葉県労福協

共催 連合千葉、中央労金労組千葉統括支部

全労済労組関東支部千葉分会

中央労働金庫千葉県本部、こくみん共済 coop千葉推進本部

内容 ①講演「競争か連帯か」

～歴史から学ぶ労働運動と労働者自主福祉運動の理念と課題

講師：中央労福協講師団 講師 高橋 均 氏

②事業団体からの提起

「＜中央ろうきん＞による生活支援の取り組みについて」

中央労働金庫成田支店 戸邊 太輔 氏

③事業団体からの提起

「事故発生から解決までのサポートと補償内容について」

こくみん共済 coop千葉推進本部 松田 康宏 氏

⑤協同組合の社会的認知度の向上、理解促進の取り組み

・広報誌（しあわせ）による事業・活動紹介

・中央労福協や労金、こくみん共済 coop作成教材・DVDの紹介及び貸出。

⑥構成団体の取り組み

構成団体の取り組み報告については、「Ⅲ. その他事業」の後に記載しましたので  
 ご参照願います。

**（４）貧困・格差問題及び福祉強化の取り組み**

①2020年全国福祉強化キャンペーン

実施期間 2020年10月～12月

全国共通テーマ

I. 労働者福祉運動で共助の輪を地域に広げよう！

II. 生活・就労支援を地域のネットワークで支えよう！

今こそ、労福協の力を。

全国一斉行動（重点課題）

（１）地方自治体への政策・制度要請

①通常要請

②コロナ禍対応に関する緊急要請

（２）相談・情宣活動の充実・強化

①奨学金に関する全国一斉相談

②事業団体（ろうきん・こくみん共済coop）との連携

③中央労福協が行う取り組みの有効活用

（３）生活・就労応援基金（愛称 ろうふくエール基金）と連携した取り組み

その他重点課題以外の課題

（１）利用促進・共助拡大

①労働団体への要請

②事業団体との連携



(2)2030年ビジョンの周知および次世代育成強化

②奨学金に関する全国一斉相談の実施

(1)日時・場所 2020年11月6日(金)10時～16時 千葉県労福協事務室

(2)実施者 ちばライフサポートセンター相談員2名

3. 労働者福祉に係る調査研究に関する事業

(1) 社会保険制度の調査研究

今年度も現行社会保険制度一覧表を700枚作成して、県内の労働組合等へ配布し、制度概要の周知を図りました。会員を問わず、配布した団体からは大変重宝がられています。

4. スポーツ・文化活動に関する事業

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりいずれの行事も中止となりました。

(1) 第36回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会

日時・場所 2020年10月26日(月) 真名CC

(新型コロナウイルス感染症により中止)

(2) 第17回勤労者ボウリング大会

日時・場所 2021年2月6日(土) VEGAアサヒボウリングセンター

(新型コロナウイルス感染症により中止)

5. 教育・宣伝に関する事業

(1) 労福協広報誌「しあわせ」3回発行(号外含む)

従来は、千葉県労福協の活動、構成団体の「連合千葉」「中央労金千葉県本部」「こくみん共済coop千葉推進本部」「千葉県生協連」の事業・活動報告や紹介、地区労福協(安房、市川・浦安、匝瑳市、銚子、長生茂原、千葉市、野田、八千代)の総会や活動の掲載、中央労福協、東部ブロック協議会の活動報告、さらにNPO等の連携団体の活動紹介についても掲載してきたところですが、今年度については、新型コロナウイルス感染症により、様々な活動が中止となってしまったことから、掲載する記事が少なく、残念ながら充実した内容には到りませんでした。

そんな中で、今回は号外として「労働者自主福祉運動シンポジウム」開催の記事と、2020年全国研究集会がWEB配信となった事からその内容について掲載すると共に「ろうふくエール基金」と「奨学金相談会」のチラシを挟み込んでの発行となりました。

〇1年間の「しあわせ」記事内容については【資料2】参照。

(2) インターネット・ホームページの充実・活用

中央労福協との連携により中央のホームページとリンクするとともに、千葉県労福協の定時総会議案や活動はじめ広報誌「しあわせ」も掲載して、誰でも見られるようにしています。また、今年度から労働者自主福祉運動シンポジウムの模様などをユーチューブ配信しホームページから見られるようにしました。

(3) 第5回労働者福祉セミナー

昨年同様に大小原氏を講師に迎えセミナーを開催する予定でしたが、グループワー

クでの研修方法という事から、新型コロナウイルス感染症の予防対策が極めて難しいとの判断から中止としました。

#### (4) 2020年度労働組合のための税務研修会

日時・場所 2020年12月11日（金）13:30～16:30 ハロー貸会議室千葉駅前  
 参加者 11名  
 講師 関口邦興 税理士  
 内容 ①労働組合の会計・税務について  
 ②令和2年分の所得税について

## 6. 行政・自治体等との連携に関する事業

### (1) 審議会・委員会への派遣

千葉県の各種審議会・委員会へ委員を派遣し、県政に勤労者の意見・要望を反映させました。また、千葉県社会福祉協議会等の委員会にも委員を派遣してきました。

千葉県医療審議会委員	鈴木 光
健康ちば地域・職域連携推進協議会 委員	鈴木 光
千葉県消費者行政審議会 委員	上山 精一
千葉県多重債務対策本部 構成メンバー	菅生 利治 宮崎 弘志
千葉県自殺対策連絡会議 構成員	宮崎 弘志
千葉県公衆浴場料金等協議会 委員	鈴木 光
(一社) 千葉県地方自治研究センター 監事	宮崎 弘志
千葉県ボランティア・市民活動センター 運営委員	鈴木 光
千葉県共同募金会配分委員会 委員	鈴木 光
社会保険診療支払基金千葉支部 幹事	鈴木 光

### (2) 対県要請について

今年度の対県要請は、11月12日（木）県庁内で、千葉県労福協からは鈴木会長、日高・林田副会長、宮崎常務理事、千葉県からは、雇用労働課福田課長、高木副課長、星野班長、西村副主査が出席して、鈴木会長より福田課長に「令和3年度労働者の生活安定に関する要請書」および「新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う要請書」を渡し、鈴木会長の総括挨拶と宮崎常務理事から要請内容のポイント説明がされ、意見交換を行いました。

「令和3年度労働者の生活安定に関する要請書」および「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う要請書」に対する回答は、3月26日に出されましたが、理事会で回答の扱いを確認し、それぞれの団体で精査することとしました。

※「令和3年度労働者の生活安定に関する要請書」「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う要請書」の要請内容及び回答は【資料3】参照。

## II. 生活支援に関する事業

### 1. 暮らし何でも相談事業「ちばライフサポートセンター」

(1) 前年度に引き続き専門相談員2名体制により、電話による相談を基本に、生活困窮している相談者への生活保護申請支援やフードバンクちばとの連携による緊急食糧支援、さらに就労支援への対応等、寄り添い型で対応してきました。

しかしながら、コロナ禍ということから、月1回実施していた個別面談方法による

相談については、感染予防の観点から実施することができませんでした。

また継続支援が必要な相談者に対しては中核地域生活支援センターを始めとする支援団体を紹介するなど連携をはかって取り組んできました。

広報活動の面では、従来は連合千葉の協力による街宣活動等でのチラシ配布や千葉県中央メーデー、千葉県協同組合フェスティバル等でのチラシ配布等々を実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各行事が中止となってしまった事からそれらの取り組みができませんでした。そんな状況ではありましたが、千葉県労福協のHPへの掲載やこくみん共済 coop千葉推進本部のセーフティ・ファミリーに広告掲載させて頂く等、事業団体の協力を得ながら活動を実施してきました。

相談内容はコロナ禍である社会情勢を反映し、多岐にわたり、加えて深刻でかつ複合する相談が寄せられました。

#### ◎第1回ちばライフサポートセンター運営委員会

2020年11月20日（金）（新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催）

出席者 中央労金千葉県本部：菅生統括部長

こくみん共済 coop千葉推進本部：杉浦事務局長

連合千葉：永富事務局長

労福協：鈴木会長、宮崎常務理事、岩上職員

内 容 1. 運営委員会の設置と運営について

①経過

②運営委員会設置趣旨

③運営委員会の構成と役員体制及び運営について

2. ちばライフサポートセンターの現況報告

3. 課題と今後の取り組みについて

①広報活動の強化

②今後の取り組み

4. 意見交換

○1年間の相談状況については、【資料4】のとおりです。

#### (2) 野田市パーソナルサポートセンター事業の取り組み支援

生活困窮者自立支援制度の本格実施に伴い2016年度から継続して、「野田市生活困窮者自立支援事業」を受託し実施してきました。

千葉県労福協としては、行政事業を受託して7年目の取り組みとなりましたが、引き続き野田市や他県労福協、連携団体等のご指導ご協力、さらに労福協OB、労福協構成団体等のご理解ご協力により事業を進めることができました。

特に、一昨年以降は相談支援件数や支援プラン策定件数の増加や支援調整会議の定着、さらに東葛地域での相談支援機関とのネットワーク会議、社会福祉協議会や民生委員等々への事業説明や連携など、一步一步実績を積み重ねてきました。

今年度においても、センター長兼主任相談支援員1名・相談支援員1名・家計改善支援員1名・就労支援員3名の計6名の常勤・非常勤職員で、1日5名に体制を強化し取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者の相談件数が大幅に増加した事から、相談員の負担が大きく増え日々疲弊しながらも相談者の気持ちに寄り添いながら取り組みを行ってきました。

1年間の実施状況については、【資料5】のとおりです。

## 2. NPO法人、ボランティア等に関する取り組み

### (1) NPO組織等との連帯・連携の取り組み

#### ① NPO法人「地域創造ネットワークちば」

団塊シニアの地域活動やユニバーサル農業等の「相談事業」、シニア世代の地域づくり活動参加促進支援や講師派遣等の「研修・講座事業」、「情報収集・提供事業」、「連携（ネットワーク）事業」等に取り組んできました。千葉県労福協は、会員団体として理事に岡田顧問、宮崎常務理事を派遣し、各種活動に参画し取り組んできました。

- 1) 第14回総会（2020年5月19日 みなし総会）
- 2) 理事会：4回開催（7/21、10/20、1/19、4/20）
- 3) 第2回つながる経済フォーラムちば（2020年10月26日 オンライン開催）
- 4) ちばユニバーサル農業フェスタ2020（12/5（土） 四街道市文化センター前広場）  
農業者、福祉団体等20団体。来場者500人

#### ② 「協同労働の協同組合ネットワークちば」

「協同労働の協同組合」法制化運動を促進し、協同労働の協同組合への理解・賛同を広げ、発展させることを目指し、学習会や交流視察等に取り組んできました。

そんな中、2020年12月4日（金）第203回臨時国会において、与野党・全会派の賛同を持って、念願であった「労働者協同組合法」が成立しました。これを受けて、より多くの人に対して「労働者協同組合法」を理解してもらう活動の一つとして、「協同労働の協同組合ネットワークちば」および「特定非営利活動法人ワーカーズコープ」主催による「労働者協同組合法」成立記念フォーラムinちばの開催をするなどの取り組みを行ってきました。

- 1) 運営委員会：5回開催（運営委員 宮崎常務理事）
- 2) 「労働者協同組合法」についての学習会開催（2020年11月12日（木））
- 3) 「労働者協同組合法」成立記念フォーラムinちば開催（2021年4月7日（水））

#### ③ 「消費者行政充実ネットちば」

2019年度は、消費者に最も身近にある、地方自治体における消費者行政の充実に向けて①全自治体での消費者生活相談窓口の設置や相談員の処遇改善、②消費者が頼れる消費者行政の確立、消費者教育の推進に向け取り組むとともに、「リコールキャンペーン」を実施する等、積極的に取り組みを展開してきましたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から活動ができませんでした。

#### ④ 「フードバンクちば」

「フードバンクちば」は、ワーカーズコープちばが運営主体となり2012年5月から活動をスタートして9年目の活動に取り組んできました。

今年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部フードドライブ等が中止となったりもしましたが、千葉県労福協は、協力団体として各種取り組みを支援するとともに、ちばライフサポートセンターや、野田市生活困窮者自立支援事業での生活困窮者支援において「フードバンクちば」から支援を頂く等、双方連携のもとに取り組んできました。

#### ⑤ 社会福祉法人「千葉いのちの電話」

「千葉いのちの電話」は、1989年10月1日の開局から30周年を迎え、電話相談、フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」、対面相談、自死遺族支援事業、インターネット相談等を行ってきました。2019年の自殺者数は全国で19,959人となり、統

計を開始した1978年以来、初めて速報値が2万人を切りました。しかし、未成年の自殺者が増加傾向にあることや、約2万人の方が自ら命を絶たれており、依然として深刻な状況には変わりありません。引き続きの対策が急務であり「千葉いのちの電話」の事業は重要な取り組みとなっています。千葉県労福協は、評議員会に参加するとともに、理事会等で現状等を報告してきました。

1) 評議員会：年3回開催（評議員：鈴木会長）

#### ⑥ 「貧困問題を考える懇談会」（千葉県弁護士会主催）

「貧困問題を考える懇談会」は、生活保護問題、奨学金問題等の貧困問題に対する学習や意見交換、各団体の取り組み報告等を行ってきました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により懇談会の実施回数が従来より少なくなったものの、新たな試みとしてオンラインを利用した方法も取り入れながら懇談会の開催が行われました。千葉県労福協は、労働者の雇用問題やちばライフサポートセンターでの取り組み、さらに全国で取り組んでいる奨学金制度の改善等を中心に懇談会に臨んできました。貧困問題の実態や支援状況、課題等の共通認識がはかられ、多くの団体等とのネットワークが広がってきています。

1) 懇談会：年4回程度開催

2) その他、懇談会参加の弁護士等との連携した取り組み

#### ⑦ NPO法人「消費者市民サポートちば」

2016年11月に適格消費者団体を目指し設立された「NPO法人消費者市民サポートちば」には、千葉県労福協から役員（監事）を派遣し、一緒になって取り組みを進めてきました。

2019年6月に千葉県内初の「適格消費者団体」としての認定を受け、不当な事業者に対し「差止請求」訴訟ができるようになり、より活動の幅が拡張しました。

1) 第4回通常総会 2020年6月7日（日）千葉県弁護士会館

2) 理事会：2ヶ月に1回開催（7/2～6/3 WEB開催）

3) 自治体等、各団体からの受託事業の実施

---

### Ⅲ. その他事業

#### 1. 構成団体との連携による労働者自主福祉運動・協同組合運動の推進

##### <構成団体の取り組み>

##### <連合千葉>

##### 【2021 春季生活闘争の取り組み】

2021 春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合として、社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争として、『日本の抱える構造課題とコロナ禍によって明らかとなった社会の脆弱さを克服し、将来世代に希望が繋がる持続可能な社会の実現』。また『労働者を「労働力」でなく「人」として尊重する社会の実現』等。連合はすべての働く者・国民の生活の「底上げ」「底支え」「格差是正」と誰もが安心・安全に働くことのできる環境整備をはかるため、『誰もが希望を持てる社会を実現！安心・安全に働ける環境整備と「底上げ」「底支え」「格差是正」で』をスローガンに掲げ、「感染症対策と経済の自律的成長」の両立と「社会の持続性」の実現に向けて果敢に闘おうとするべく取り組んでいます。

連合千葉は、構成組織・地域協議会・関係諸団体との団結により、広く2021 闘争を社会全体に波及し定着・深化させていきます。

### 【政策実現に関する取り組み】

連合は、「働くことを軸とする安心社会」-働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件の下、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸に相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会の実現をめざしています。

連合千葉は、2021年3月21日執行された千葉県知事選挙が、千葉県における with/after コロナの新時代を切り拓き、私たちの政策制度実現に転機をもたらす重要な選挙として受けとめ必勝に向け取り組み、12年ぶりの推薦県知事を誕生させることが出来ました。

連合千葉は、千葉県労働者福祉協議会および関連組織としっかり連携して推薦県知事とともに千葉県の労働者・生活者の安心と安全を追求し、政策制度実現につなげていきます。

### 【組織強化に向けた取り組み】

連合は、すべての働く者、生活者の立場で、働くということに最大の価値を見出し、社会全体へうねりを生み出す運動として、世論喚起や行政等への政策制度要求・実現に取り組んでいます。

また、連合千葉では、運動を支える人材の育成・確保、持続的な組織運営に必要な財政資源の確保等、持続的な組織運営を指向し、「組織・財政特別委員会」を立ち上げ、運動領域・人材・財政といった限られた活動資源の有効活用・再配分等について検証・検討を進めています。

組合員一人ひとりから共感を得られる運動を推進し、社会から「信頼される労働者の代表的組織」として、その発信力を社会全体に波及させるためにどうあるべきか、連合千葉・構成組織・地域協議会、さらには、福祉団体等との連携のうえ、検討を進めてまいります。

### 【福祉団体との連携】

連合千葉は、千葉県労働者福祉協議会をはじめとした関係諸団体と連携をはかり労働者自主福祉運動の推進に取り組んできました。具体的には、各種事業への参画が挙げられますが、連合千葉と千葉県労働者福祉協議会の協働による街宣等、世論喚起に取り組みました。

また、労働運動を支える人材育成は急務であるとの認識のもと、千葉県労働者福祉協議会が主催する「労働者自主福祉運動シンポジウム」への参画等、今の労働運動の礎である歴史や運動の理念を学ぶ機会として、成田・佐倉地域協議会と連携し取り組みました。

連合千葉が掲げる「働くことを軸とする安心社会-まもる・つなぐ・創り出す-」は、誰一人取り残されることの無い社会をつくり上げることであり、それには福祉団体とのさらなる連携が求められます。with/after コロナに適う運動推進に連携して取り組んでまいります。

### <中央労金千葉県本部>

2020年度は『ろうきん運動』をより定着させるための1年として、会員の皆様と共に、組合員の豊かな暮らしを実現するため、Face To Face を基本とする『ろうきん運動』を活性化し、組合員のライフプラン充実による豊かな暮らしの実現を目指していく1年としました。

### 【資産形成支援のための取り組み】

若年層における資産形成支援のため財形貯蓄およびエース預金の新規・増額提案を行うと共に、キャッシュバック制度があるろうきんへの給与振込の優位性について訴えました。

さらに、全年齢的に年金不安・老後不安が高まる中、iDeCo による老後資産形成支援、つみたてNISA、投資信託、国債による人生100年時代における長期資産形成支援の提案も進めました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により当金庫主催で行うセミナーおよび各会員労組で行う研修会等が極端に少なくなり、会員・組合員の皆様に向けた十分な資産形成提案が行えませんでした。

### 【生活支援のための取り組み】

新型コロナウイルスの影響により収入減に直面した組合員の皆様向けに、生活資金としてご利用いただける『緊急生活応援ローン』をご用意しました。固定金利で年利 1.5%（保証料込み）、返済期間最長 10 年、融資額最大 100 万円と言う内容で、広く組合員の皆様にご利用いただきました（2021 年 4 月からは、さらに充実した制度内容となりました）。

また、会員労組執行部の皆様を中心に『ろうきんアプリ』と『ろうきん Web 通帳』の導入を推進いただき、非対面・非接触によるろうきん取引を進めました。ろうきんの ATM 利用手数料キャッシュバック制度と共に、このアプリをご利用いただくことで、全国どこの金融機関の ATM を利用しても実質手数料無料。そして、取引内容と取引履歴がいつでもどこでも確認可能となる、お得で便利なサービスを展開し、組合員の皆様の生活応援を図りました。

### 【利用者拡大（基盤強化）に向けた取り組み】

女性利用者拡大に向け、2019 年度に発足した『ROKIN なでしこ会』のメンバーと更なる連携強化を図り、女性組合員の意見をろうきん運営に反映させる活動を続けています。

しかしながら、こちらにも新型コロナウイルスの影響で、十分な活動が行えませんでした。

また、ろうきんを少しでも多くの組合員に知っていただくため、定期大会議案書等への『ろうきん運動』記事掲載依頼と、支店全体会議へのより多くの会員参加を呼びかけました。

会員労組の皆様においては議案書等でのろうきん情報の発信、および Web 会議も含めた会議への多数参加など、ご協力ありがとうございました。

資産形成支援、生活支援、利用者拡大を 3 つの柱とし取り組んだ 1 年でしたが、新型コロナウイルスの影響により、大幅に活動が制限された大変厳しい 1 年となりました。

2020 年度を振り返りコロナ禍において見えてきたことは、資産形成の準備ができていた人とそうでない人との減収時における耐性の違いでした。積立等を行っていた人は、減収に際し積立額を減らしたり、一時的に積立を止めることで、これまでに近い生活の維持が可能でした。それでも生活費が不足する場合や急な出費があった場合には、積立等を切り崩す事で対応ができました。

しかし、資産形成の準備ができていなかった人、さらには、恒常的に生活費決済にカードローン等の借入れを利用していただいていた人については、減収に対する抵抗力が弱く、新たに借入れを起したり、ローン返済をするためのローンを組んだり、残念ながら個人では返済が困難な状況に陥った方もいらっしゃいました。

このような状況に会員・組合員の皆様が陥ることが無いよう、我々ろうきんは、金融教育をより一層充実させ、日常的に会員組合員の皆様の資産形成支援をしていくことが急務であると実感しました。2022 年には 18 歳への成人年齢引き下げ、DC 法の改正など我々に身近なところで、大きな変化があります。関連団体の皆様と連携を密に取りながら、引き続き組合員の生活向上のため尽力して参ります。

### <こくみん共済 coop 千葉推進本部>

2020 年度は、New-Zetwork（2018 年度～2021 年度期経営政策）の 3 年目にあたり、「お役立ち」発想と「共創」活動を具現化するため、組合員の多様化するライフスタイルに応じた保障設計（新しい保障設計）と「持続可能な社会づくり・セーフティネットづくり」を目指した活動に着手しました。事業推進においては新型コロナウイルスとの共生という観点から、これまでの対面に加え、非対面コミュニケーション（WEB）など新たな生活様式を踏まえた接点業務に取り組み、組合員や協力団体、そして生活者へのお役立ちを意識した活動を展開しました。

また、組合員・協力団体の「こくみん共済 coop」に対する愛着度を高め、より深く、より長く、より広く共済を利用いただくことを目指した推進活動を展開しました。

具体的な取り組みに際しては、職域では「地区共済推進委員会」、地域では「地区共済会」が主体となり、組合員による自主的な組織運営のもと、事業推進活動を展開しました。

## 【職域】

1. 労福協をはじめ、連合、産業別労働組合、労働金庫、地域生協、こくみん共済 coop 指定整備工場などの関係諸団体と連携強化をはかるとともに、未組織労働者を含むすべての労働者福祉の拡充に向け、共済推進活動を展開しました。
2. 対面・非対面（WEB）双方での協力団体訪問や組合員対応によって接点機会の増加を目指し、対話を起点として組合員・協力団体への具体的な「お役立ち」活動を実践しました。
3. 2021年3月11日、東日本大震災から丸10年を迎えることを機に「3.11 統一行動」を実施しました。オンラインによる震災語り部講話を通じて協力団体役員の防災・減災意識を高めるとともに、協力団体において防災・減災を訴求するチラシ・ポスターを活用して組合員への告知活動を実施いただきました。

## 【地域】

1. 共済ショップに来店されたお客さまには「お役立ち」を意識した親切丁寧な対応と、保障の不足を補うプラスワン加入をおすすめするなど、お客さまへの寄り添いを大切にされた推進活動を実施しました。
2. 地区共済会役員会を開催して共済会活動の活性化に努めるとともに、共済会活動を担っていただく「地域協力員」の登録活動を進めました。
3. 2021年4月より千葉市において自転車賠償が義務化されることを踏まえ、千葉テレビへのCM出稿や市内全戸への告知の実施により、自転車賠償補償について生活者への周知活動を行いました。

## 【教育文化活動】

1. 子どもたちの体力向上を応援するために「こどもの成長応援プロジェクト」として、こくみん共済「こども保障タイプ」のご加入1件につき、1本のなわとび・長なわを寄贈する取り組みを展開しました。
2. 未来ある子どもたちを交通事故から守りたいという思いから「7才の交通安全プロジェクト」として、マイカー共済のお見積もり1件につき1本の横断旗を寄贈する取り組みを展開しました。
3. 2021年2月時点で「こどもの成長応援プロジェクト」は県内96の協力団体、「7才の交通安全プロジェクト」は県内98の協力団体にご賛同いただき活動を展開しています。

## <千葉県生協連>

### 【2020年度活動の特徴】

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、社会のシステムや経済、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。その中で、地域に根ざしたたすけ合いの組織として、生協・協同組合の役割発揮が求められています。千葉県生協連は2020年度の3つの重点課題と4つの基本課題に沿い、コロナ禍の中で今できること、また必要とされていることを丁寧にすすめました。

### 【重点課題】

1. 生協・他団体・行政とのネットワークを強め、「安心して暮らせる地域社会づくり」の実現に向けて取り組みました。
  - 新型コロナウイルス感染拡大による生活困窮者への支援をおこなうフードバンクちばに対し、千葉県生協連を含め6生協から支援金を寄付しました
  - 子供たちが平和について考える機会として、子どもたちに平和な未来を2020「平和ってなに？世界の子どもの声から考えよう」をテーマにオンラインで講演会を開催しました。
  - コロナ禍の中で、アルバイトなどの減少により生活に困窮する県外出身の一人暮らしの大学生を中心に、協同組合提携を通して食料を届けました。
2. 消費者市民社会の実現にむけた学習会の開催や、他団体と連携した消費者活動の広がりづくりに協力しました。



- 高校生、大学生、保護者、高校教員を対象に成年年齢引き下げ問題に関するオンラインでの公開講座「成年年齢引き下げでなにがかわるの？」を開催しました。千葉県労働者福祉協議会ははじめ、各団体から多くの方に開催案内をしていただき、210名の方に視聴いただきました。
  - 消費者団体千葉県連絡会の事務局として第45回千葉県消費者大会を開催しました。「レジ袋の有料化とプラスチック削減」をテーマにした講演会をアーカイブで配信し6団体55人が視聴しました。
3. 自然災害への防災や減災対策、被災地支援を行政・諸団体と連携してすすめました。
- 日本赤十字社千葉県支部と会員生協で、新型コロナウイルス感染症への対応について懇談をしました。また、日本赤十字社と締結している「災害時における災害救助物資搬送の協力等に関する協定書」に基づき災害救援物資搬送訓練をおこないました。
  - 千葉県防災危機管理部防災政策課から講師を招き、昨年の台風被害をもって、6月に修正された千葉県地域防災計画について、会員生協と学びました。地域防災計画の修正により千葉県生協連の災害対応手順書について改定し、会員生協と共有しました。また毎月、5生協と千葉県生協連の間で、災害時MCA無線通信訓練をおこないました。